

令和7年度 学校教育の努力点とその推進

1 山王中学校の学校教育の努力点について

(1) 令和6年度の成果

昨年度は、テーマを『「互いに認め合い 学びを深めよう」～キャリア教育を通して自分らしい生き方を探究しよう～』と設定し、以下を重点として活動に取り組んだ。

＜令和6年度の重点＞

(1) 「総合的な学習の時間」キャリア教育の授業づくり（カリキュラムの作成）

1年生では「SDGsについて学ぼう」、2年生では「職場体験学習」、3年生では「修学旅行都内分散」の単元で授業づくりを行う。「学習の個性化」を考え、課題の設定、課題の追究（情報の収集・整理・分析）、課題の追究（まとめ・発表）の3段階でカリキュラムを作成した。

(2) 考えの共有や振り返りの場面でのICTの活用

共有の場面でのICTの活用では、似た課題を設定した生徒同士で考えを共有する、集めた情報を共有するなどを考える。振り返りの場面でのICTの活用では、意図的な振り返りの記録、次の学びにつながる振り返りの共有などを考えた。

課題の設定、課題の追究（情報の収集・整理・分析）、課題の追究（まとめ・発表）の3段階でカリキュラムを作成できた。そして必要に応じて情報を収集したり、仲間がまとめたものを参考に学びを深めたりする生徒の姿も見られるようになってきた。

2年生の実践では、はじめに自分のよいところを書き出し、友達にも書いてもらう活動を行い、職業レディネステストにより自分の適性を知るといった学習に取り組んだ。その後の職業講話により、働くということについて考え、興味ある職業について調べ学習を行い、職場体験における課題を設定した。それにより、多くの生徒が職場体験に関心を高め、具体的な課題を設定することができた。そしてより詳しく調べ、学びを深める生徒も何人かいた。

ICTの活用については、考えを共有したり、学習を振り返ったりする場面で、学年ごとに活用を考えて実践に取り組んでいた。

1年生の実践では学習活動に必要なデータを共有サーバーに保存することで、生徒が関心に応じて、自分のペースで情報を得て、学びを深めることにつながった。また、そのPDFファイルを見て、互いに認め合う姿も見られた。

(2) 令和7年度の努力点について

昨年度より「ナゴヤ学びのコンパス」に示された内容について、市内の各学校で取り組んでいる「ナゴヤ学びのコンパス」には、「自分に合ったペースや方法で学ぶ」といったことが示されており、これは、生徒の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う「総合的な学習の時間」での学びと合致している。そこで、昨年度は、「総合的な学習の時間」の授業づくり（カリキュラムの作成）を考えてきた。

2年生の実践は、課題の設定に向けての学習がかなり充実したものであるが、カリキュラムとして整理がされていない。また、1・3年生についても課題の設定に向けて学習を充実させ、整理がされるとよい。ICT機器の活用についても、カリキュラムに組み込まれて、整理ができると、ICTの効果的な活用につながり、生徒が仲間と学びを深めることにつながると考える。

そこで、本年度は、生徒が学習活動で取り上げられていることに対して自分事として捉え、「課題の設定」主体的に行っていくようにするために、カリキュラムを効果的に整理していきたい。そうすることによって、生徒同士が相互の学び合いを意欲的に行ったり探究活動をより充実させたりしていくことにつながっていくと考える。

これらの活動の中で、ICT機器が効果的に活用できるよう、学年間で学習方法を共有したり、新たな活用方法を模索したりして、自分の考えをさらに深めることができるようにし

ていきたい。

以上のことから、次のように努力点テーマ、重点を設定し、各学年、特別支援学級における授業実践に取り組むこととした。

<努力点のテーマ>

「互いに認め合い 学びを深めよう」
～ キャリア教育を通して自分らしい生き方を探究しよう ～

<努力点の重点>

- 「総合的な学習の時間」の授業づくり（カリキュラムの整理）
- 考えの共有や振り返りの場面での効果的なＩＣＴ活用

(3) 努力点推進の具体化

① 「総合的な学習の時間」の授業づくり（カリキュラムの整理）

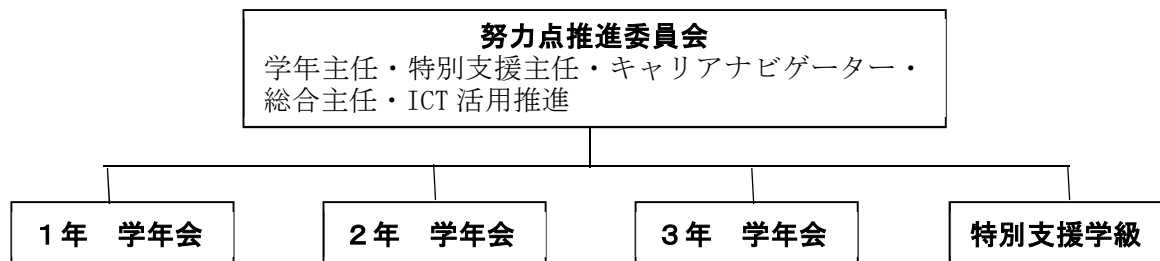
1年：SDGsの取組 2年：職業についての取組 3年：自分らしい生き方

- ・ 主体的な学習を促すために、「課題の設定」「課題の追究(情報の収集・整理・分析)」「課題の追究(まとめ・発表)」の3段階のサイクルを学習活動ごとに行うことができるようにカリキュラムを整理する。特に「課題の設定」に焦点を当てた整理をする。

② 考えの共有や振り返りの場面でのＩＣＴ活用

- ・ まとめ作成や振り返りの場面でのＩＣＴ活用をカリキュラムへ明示する。

(4) 努力点推進組織



(5) 努力点推進の方法及び年間計画

- 努力点推進委員会にて各学年での具体的な内容を協議
- キャリアナビゲーターの協力を受けて、カリキュラムを調整
- 6月9日（月）現職教育「ＩＣＴの活用」について
- 学年会でのカリキュラムの検討→カリキュラムの提示
- 10月の現職教育にて中間報告、2月の現職教育にて最終報告
- 3月の努力点推進委員会（本年度の取組の反省と次年度の実践に向けて）

(6) 努力点推進の方法

- 学校だよりについて、今年度の取組について知らせる。
- 学年通信で取組について知らせる。ホームページにて知らせる。